

伊勢市地域自立支援協議会 活動報告（平成25年度）

【課題別検討チーム 「しっていますか」チーム】

地域の 実情 ニーズ	<p>①「情報交換会」: ・委員だけの検討を進めるよりも、まずは地域の実情を聞かせて頂くことが必要であると考え、そのための取り組みを行ってきました。 ・伊勢市内の保育園、幼稚園、特別支援クラス、特別支援学校等の保護者との現状を共有するための情報交換会を実施し、以下のようなニーズが確認されました。 ・卒業後に利用する生活介護事業所の不足、行政等において情報集約や相談支援等を図る総合的な組織の必要性、卒業入学等の際の途切れない支援に対する不安(サポートブック等の必要性等)、障害をお持ちのこどもの子育ての現状(家族依存、親の仕事継続のための支援不足)、地域社会への障害理解促進の必要性、支援情報等の情報収集のしにくさ、学校の姿勢や学校への専門性のサポートの必要性、就労について等々。</p> <p>②「計画相談支援事業」: 障がい福祉サービスを利用する際に必要になってきている計画相談支援事業という制度が開始されているが、その計画相談支援事業を行う事業所が不足していることもあり、その事業へのフォロー体制等の検討を行ってきました。</p> <p>③「地域全体の相談支援体制」: 現状の相談窓口である委託相談支援事業所(フクシア)は相談件数も非常に増加してきており、また上記の計画相談支援事業等の新しい制度も出てきている中で、地域全体に必要な相談支援の体制について検討してきました。</p> <p>④「障害者計画・障害福祉計画」: 行政において障害福祉計画、障害者保健福祉計画(今後の伊勢市における障害福祉施策やサービスについての計画)の見直しが予定されている状況であるため、意見検討を行ってきました。</p>
チーム での 検討提案 内容	<p>①「情報交換会」: 上記情報交換会での意見を受けて、以下の検討等を行ってきました。 ・「途切れない支援(情報や支援や取組みの継続)」のための行政も含めた体制作り、および「途切れない支援」を行うためのツール(サポートブック等)の活用など、話し合い検討していくための機会の必要性についての検討を行ってきました。 ・また、生活介護事業も含めたサービスについての検討を他チーム(せいかつチーム)に依頼させて頂きました。 ・その他、情報収集のしにくさの改善に関して、伊勢市のホームページに障がいを持ってみえる方への情報を集約したボタン(「障害者」)の作成を提案し、早期に実現して頂きました。</p> <p>②「計画相談支援」: ・計画相談支援事業を行って頂く事業所の増加のために必要な検討を行ったり、また利用頂く方々に本当の意味で利益が提供されるように検討・提案を行ったりしてきました。</p> <p>③「地域の相談支援体制」: ・計画相談支援事業所の増加に向けた検討、委託相談支援事業(フクシア)の在り方の検討、基幹型(フクシア)の役割等を検討して、地域全体としてより良い相談支援の体制にしていくために、それぞれが本来の役割を担えるように、あるいは不足する役割を補うために、必要な検討を行ってきました。</p> <p>④「障害者計画・障害福祉計画」: ・障害福祉サービス種別ごとの目標設定等が行われる際に、地域の本当に必要としている方々の声をしっかり把握する必要があることや、市内のサービスの充実度についてしっかり振り返り評価する必要がある等の意見を話し合ってきました。</p>
今後 について	<p>①「情報交換会」: ・情報交換会については、来年度もテーマや対象の方を検討しながら、継続をしていく予定です。 ・「途切れない支援」等を含め、こどもに関するテーマを中心に話し合っていく機会を、どのように作っていくかについて継続して検討をしていく予定です。</p> <p>②「計画相談支援」: ・計画相談支援の進展や質向上等のために必要な検討機会を、どのように作っていくかについて継続的に検討していく予定です。</p> <p>③「地域の相談支援体制」: ・上記、計画相談支援の検討機会にも重なる中で、それぞれの相談支援機関の具体的な役割等について、行政とも検討を重ねていく予定です。</p> <p>④「障害者計画・障害福祉計画」: ・計画策定の経過の中で、随時現場に即した必要な意見を上部会議(本会)に挙げていく役割を担っていく予定です。</p>